

**血流・血行促進の実証試験結果報告**

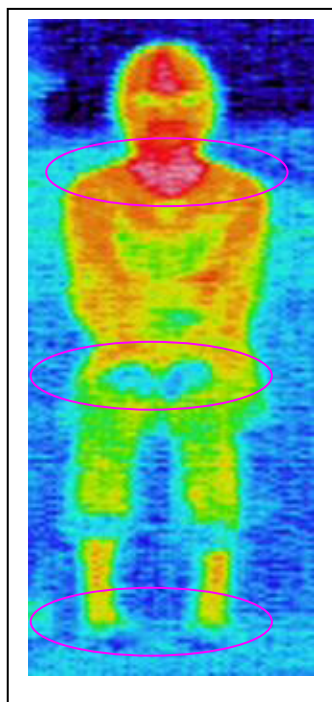
[実証試験者] 藤田保健衛生大学医療科学部 教授 勝田逸郎 (臨床血液学)

[撮影装置] 赤外線サーモグラフィ装置 機種 TH5100 (NEC 製)

[環境温度] 20.0℃

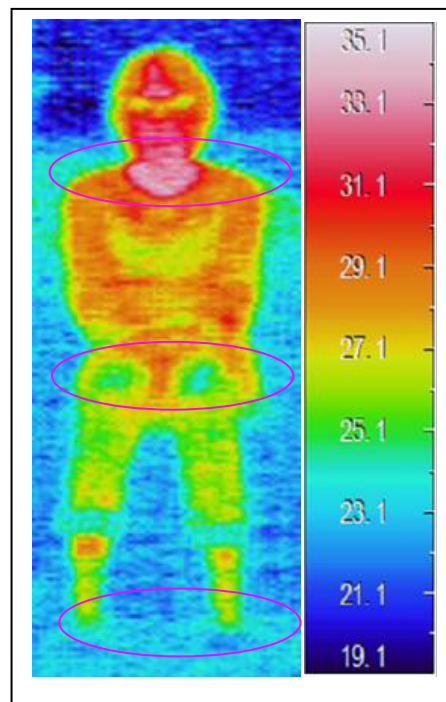
[モデル] 健康な女性 (20才)

サポーター装着直前



サポーター装着1時間後

(両手首・両足首・腰にサポーター装着)



	体温	体表面温度					血圧		脈拍	AMY	TKL
		顔	首	手	膝	足甲	最高	最低			
直前	36.6	31.4	32.0	25.4	25.9	22.1	96	54	87	40	150
1時間後	36.5	30.8	33.7	29.1	28.0	28.6	87	59	79	22	115
数値差	-0.1	-0.6	+1.7	+3.7	+2.1	+6.5	-9	+5	-8	-18	-35

**結果説明**

1. 脈拍数の低下は血管が膨張し、血流・血行が改善されて心臓の負担を軽減する。
2. 心臓の負担が小さくなれば、血圧・脈拍も降下します。
3. 体温 (腋下) は体内深部の体温に近似し、サポーター装着によって過剰な体温の上昇がないことが分かります。顔も同様です。
4. サポーター装着により、首・手甲・足甲の体表面の温度分布の上昇の拡大が観察。
5. 全身の血流の改善により、リンパ液の流れも改善され免疫能を高めることが期待。
6. AMY (唾液中アミラーゼ) は快適・不快の判別に利用し、基準範囲：19~32.7ku/L  
TKL (総カリクレイン) は活性化されたカリクレインが血圧の降下に作用し、身体のスレスレの減少の評価に利用、基準範囲：141~245 AMC ( mmol/min/ml)

これらは、2時間後の測定です。

\* 但し、効果には、症状により個人差がございます。